

科目区分	統合分野	授業科目	在宅看護方法論Ⅲ
講師名	堤 理・荒井篤子	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期～後期
目的： 在宅看護における看護過程展開を老年期の対象の事例を通して学ぶ 目標： 1) 対象と家族の状況に応じた看護過程を理解できる 2) 対象の健康レベルに応じた看護に必要な援助方法を理解することができる			
回	時間	講義内容	
1	2	パーキンソン病の療養者に対する在宅看護の事例展開	
2	2		
堤			
3	2	ALSで人工呼吸療法を実施する療養者の在宅看護の事例展開	
4	2		
堤			
5～	2	終末期(がん)の療養者に対する在宅看護の事例展開	
7	2		
堤	2		
8～	2	在宅看護の実際	健康課題を持つ小児・家族について、発達過程を踏まえた在宅看護の展開
10	2	小児の療養者	
荒井	2		
11	2	COPDの療養者	COPDの療養者・家族について、在宅看護の展開
12	2		
荒井			
13	2	独居の療養者	健康問題を持つ独居高齢者・家族について 在宅看護の展開
14	2		
荒井			
15	2	単位認定試験	筆記試験
講義方法	講義		
評価方法	単位認定試験		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論		
備考			